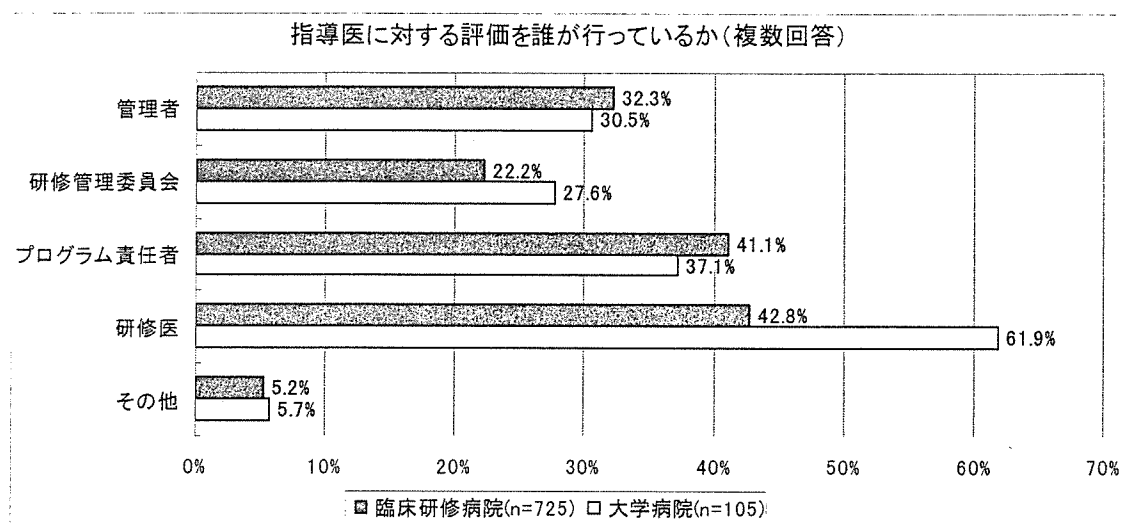
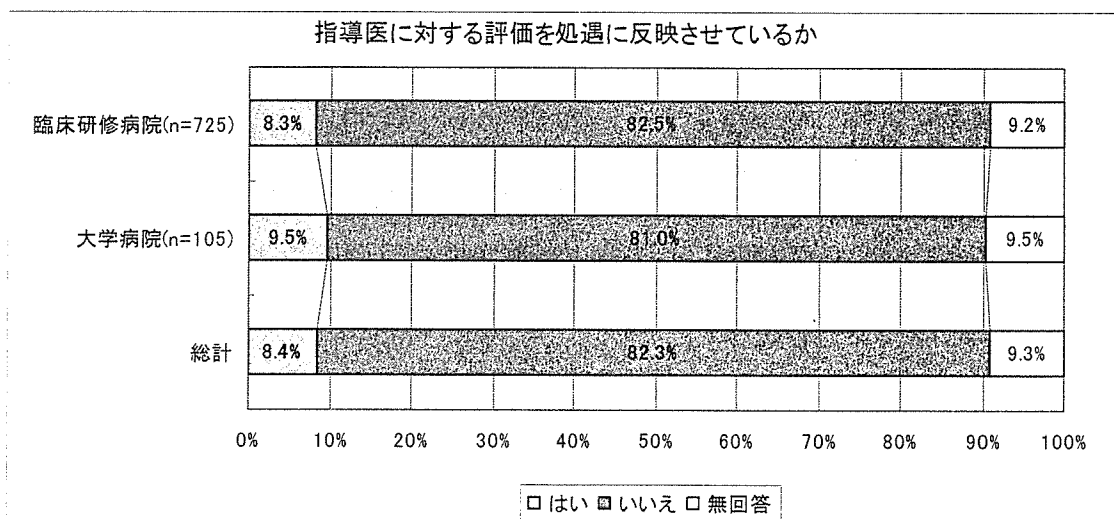


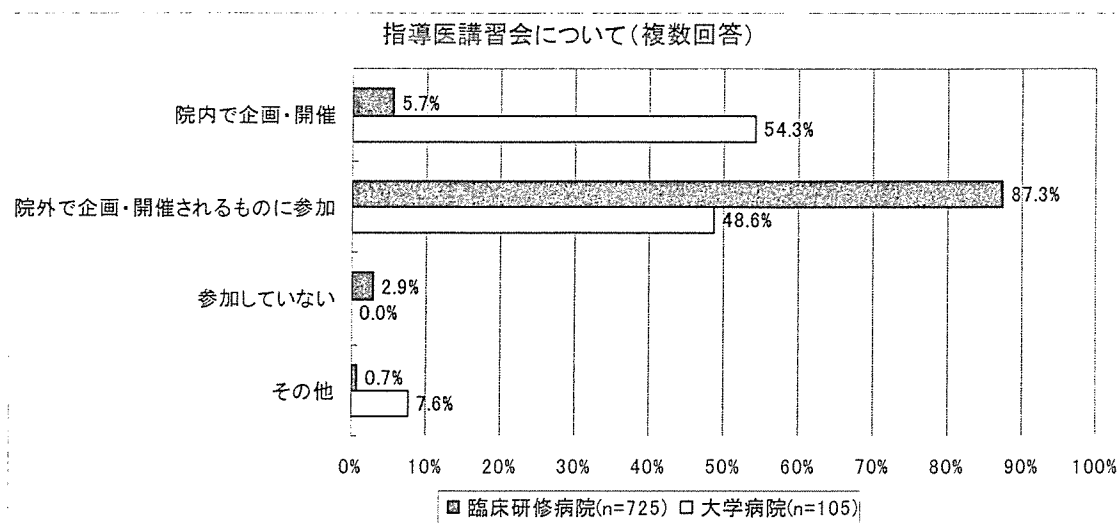
問 15 指導医に対する評価を誰が行っているか (複数回答)



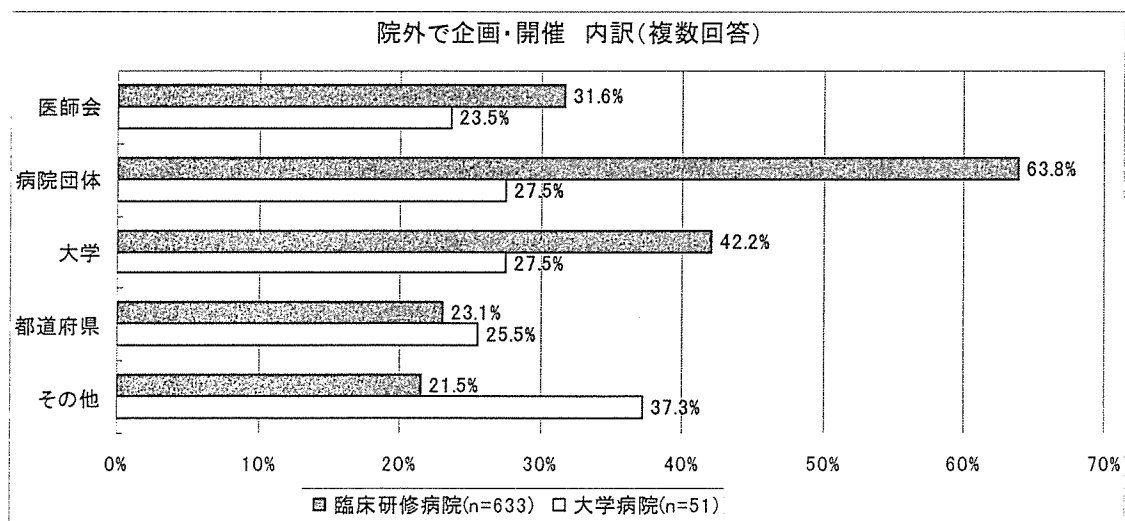
問 15-1 指導医に対する評価を処遇に反映させているか



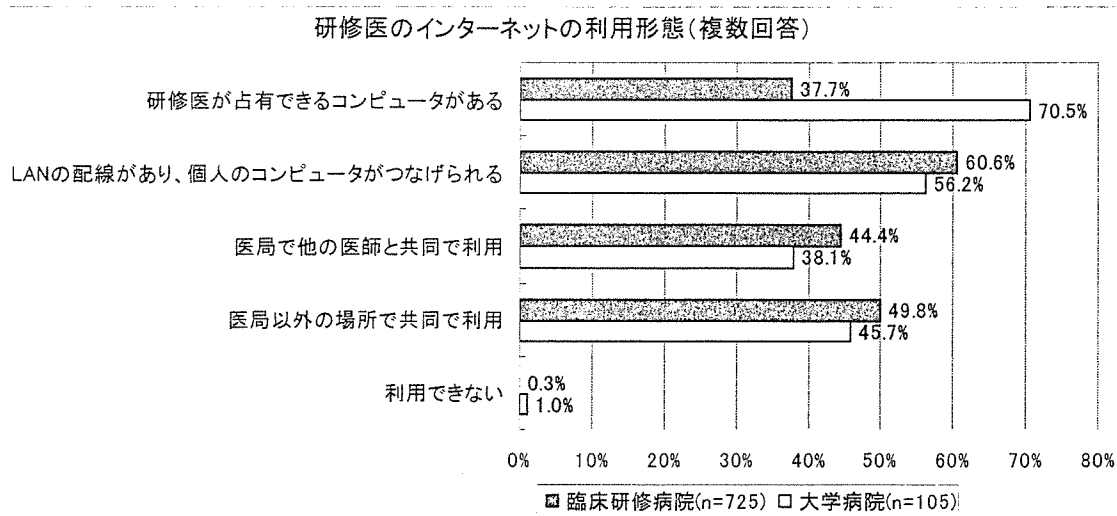
問16 指導医講習会について（複数回答）



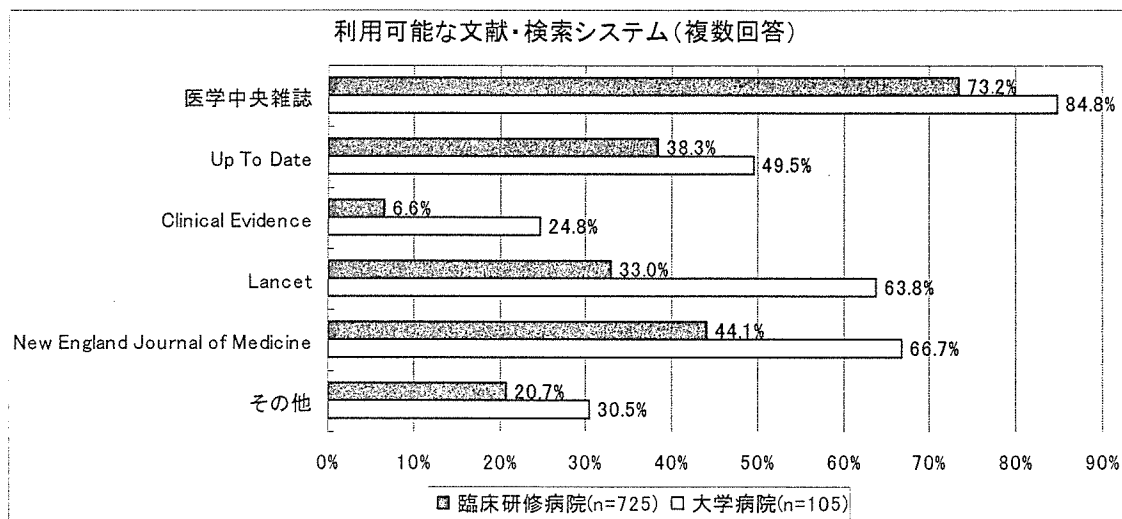
問16 院外で企画・開催 内訳（複数回答）



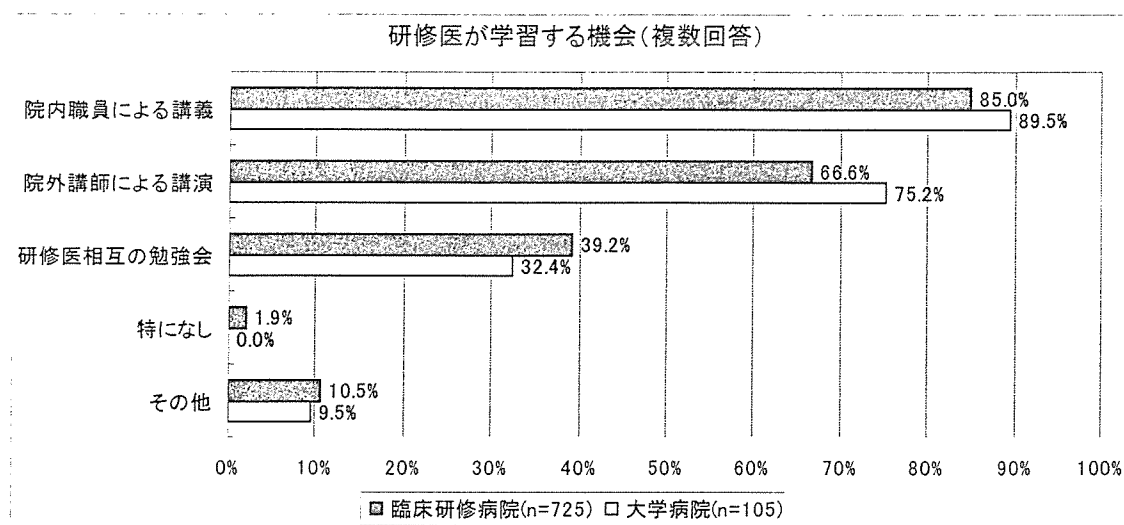
問 1 7 研修医のインターネットの利用形態（複数回答）



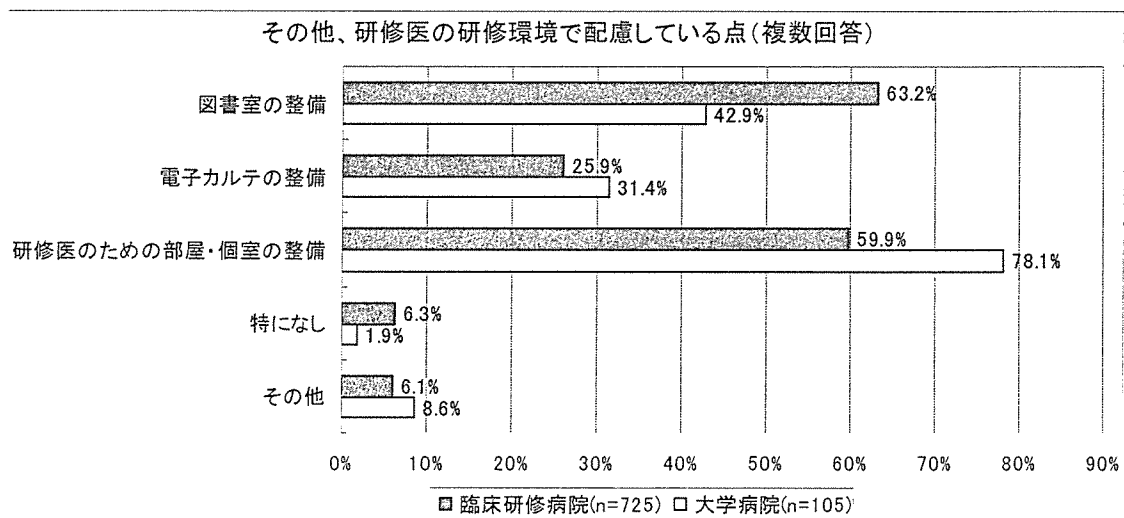
問 1 8 利用可能な文献・検索システム（複数回答）



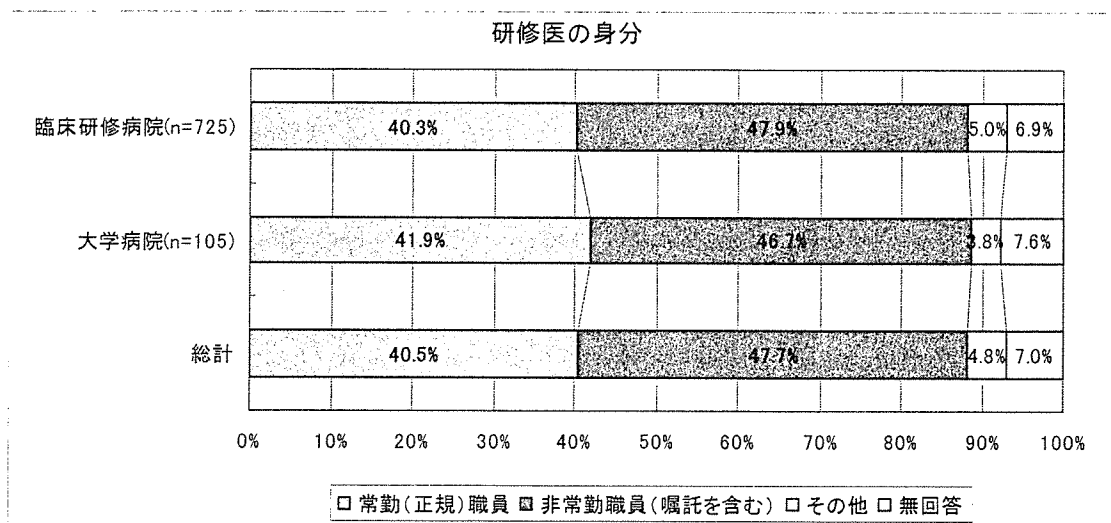
問 1 9 研修医が学習する機会（複数回答）



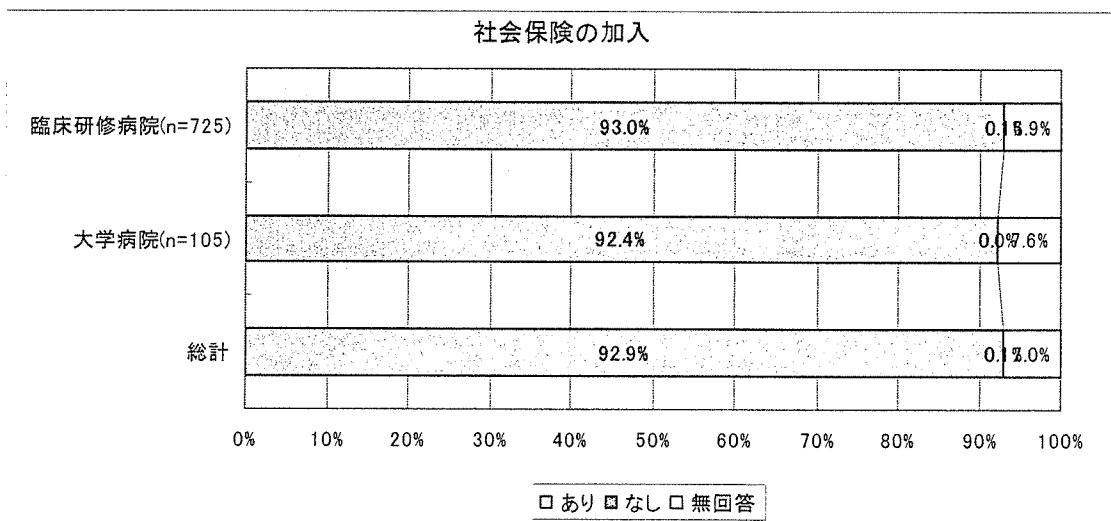
問 2 0 その他、研修医の研修環境で配慮している点（複数回答）



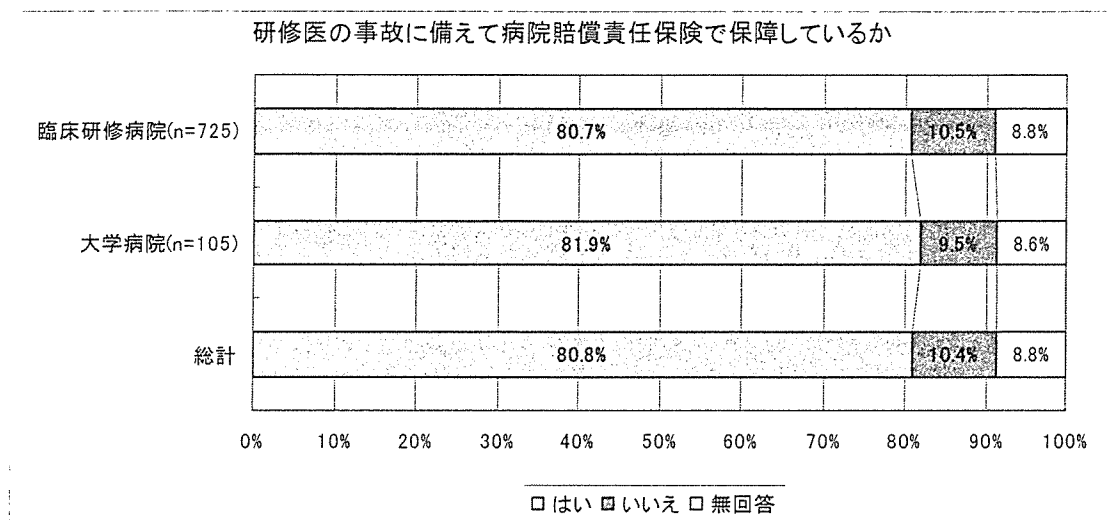
問 2 1 研修医の身分



問 2 2 社会保険の加入

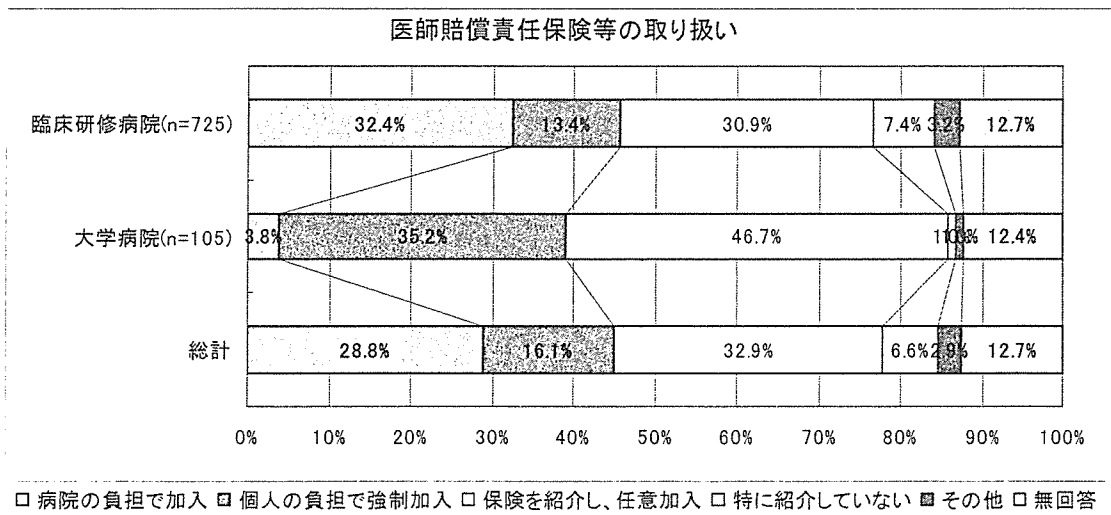


問 2 3 研修医の事故に備えて病院賠償責任保険で保障しているか
臨床研修病院で 80.7%、大学病院で 81.9%が保障されていた。

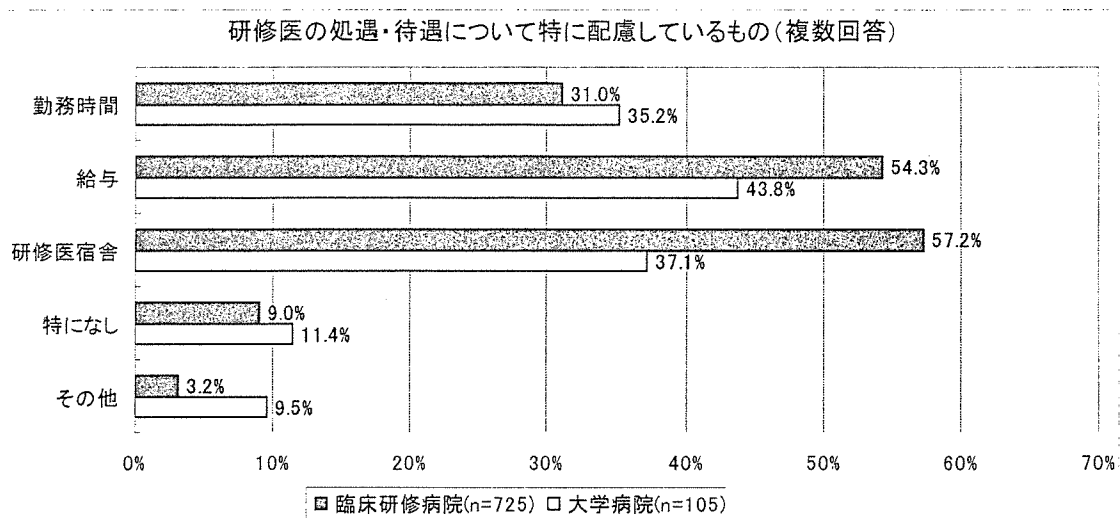


問 2 4 医師賠償責任保険等の取り扱い

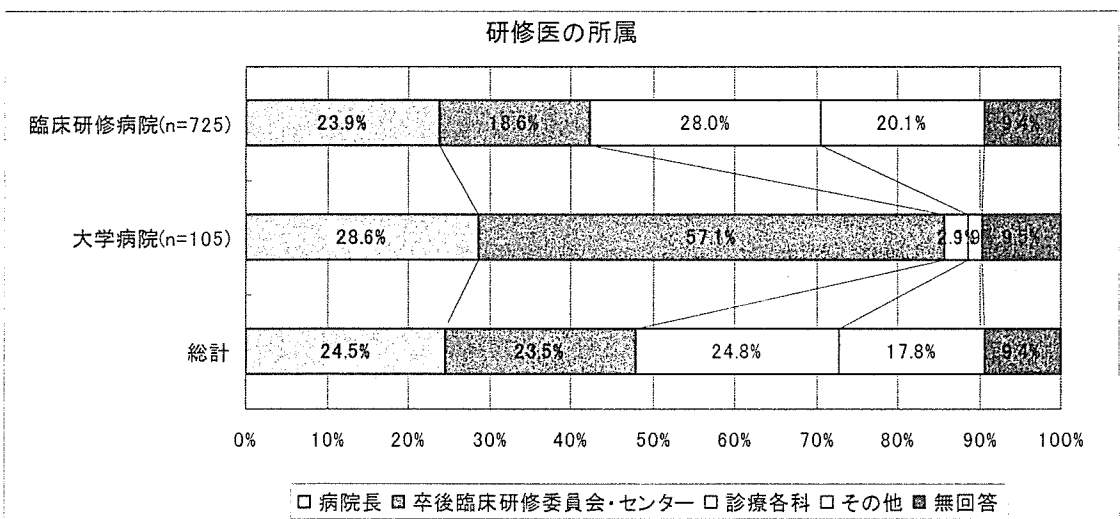
臨床研修病院では「病院の負担で加入」（32.4%）、「保険を紹介し任意加入」（30.9%）等が多く、大学病院では「保険を紹介し任意加入」（46.7%）、「個人の負担で強制加入」（35.2%）等が多い。



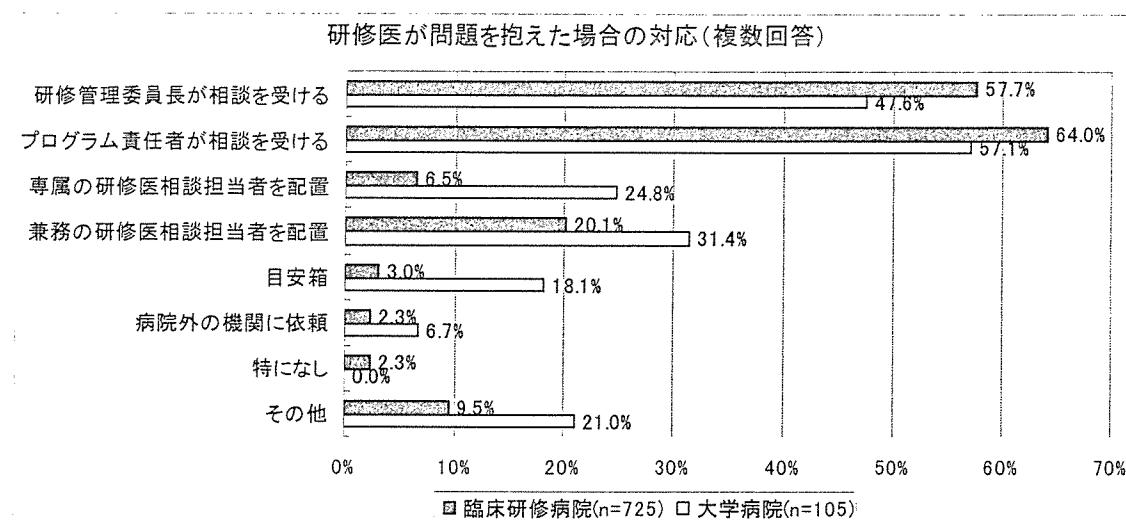
問 2 5 研修医の処遇・待遇について特に配慮しているもの（複数回答）



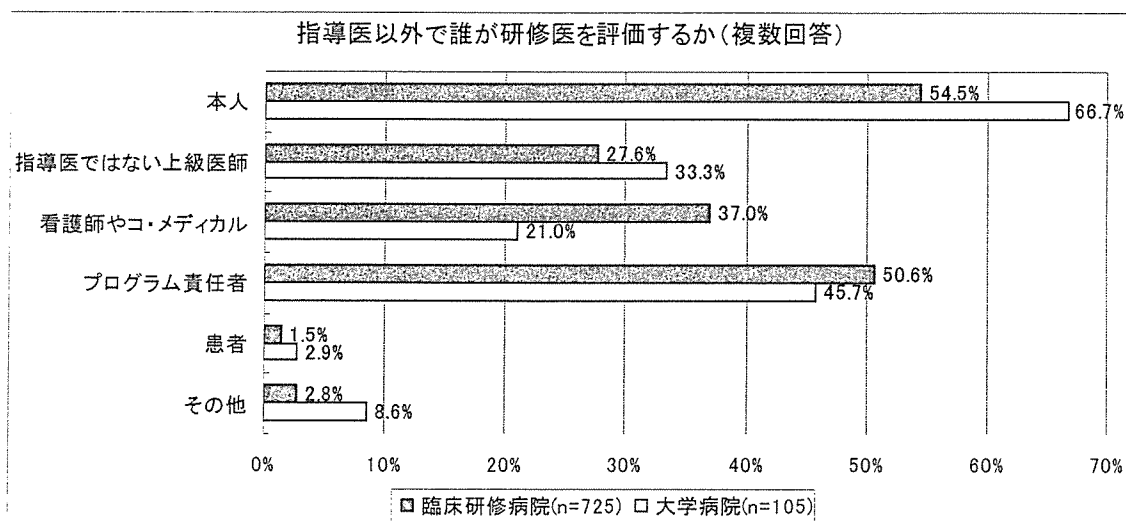
問 2 6 研修医の所属



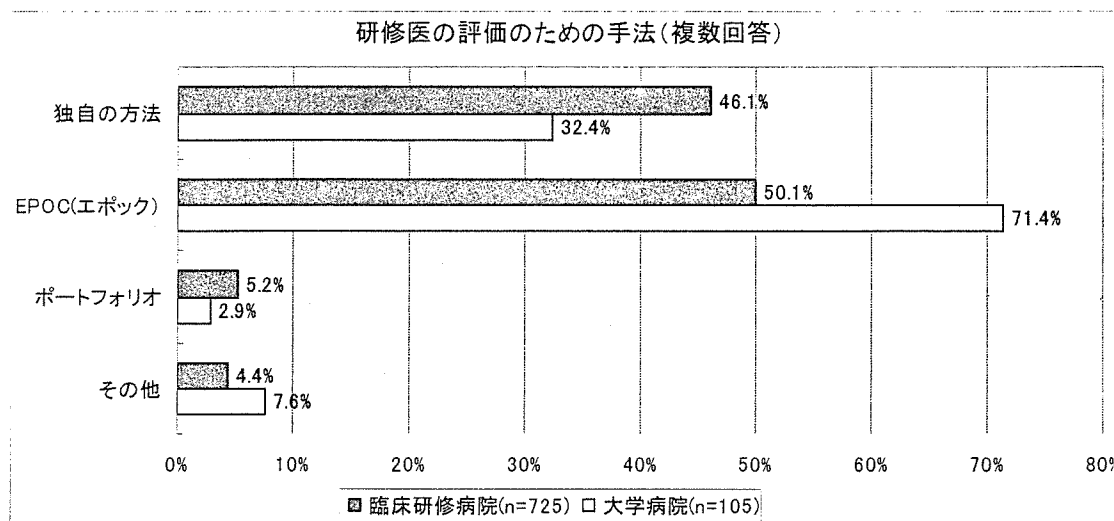
問 2 7 研修医が問題を抱えた場合の対応（複数回答）



問 2 8 指導医以外で誰が研修医を評価するか（複数回答）

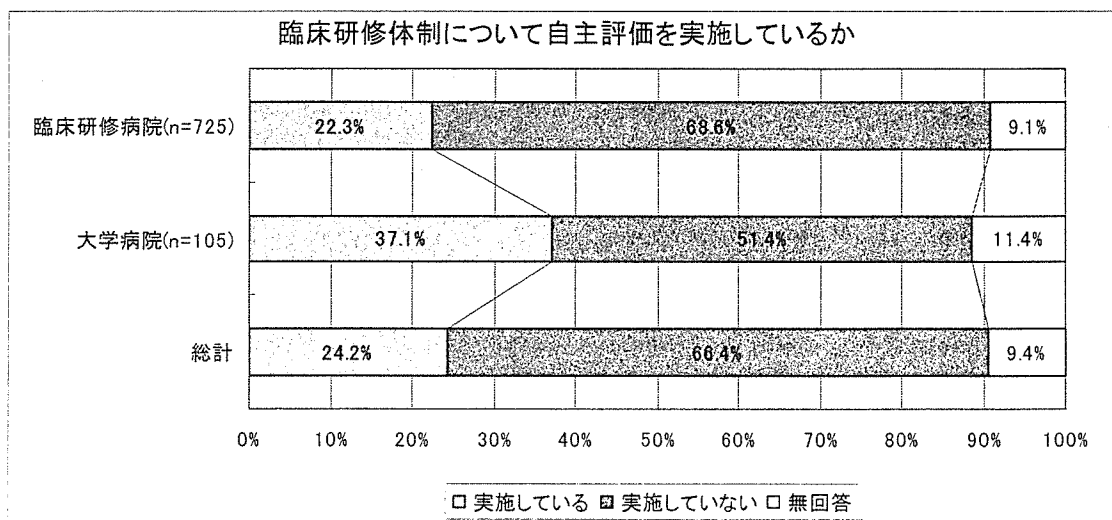


問 2 8 - 1 研修医の評価のための手法（複数回答）

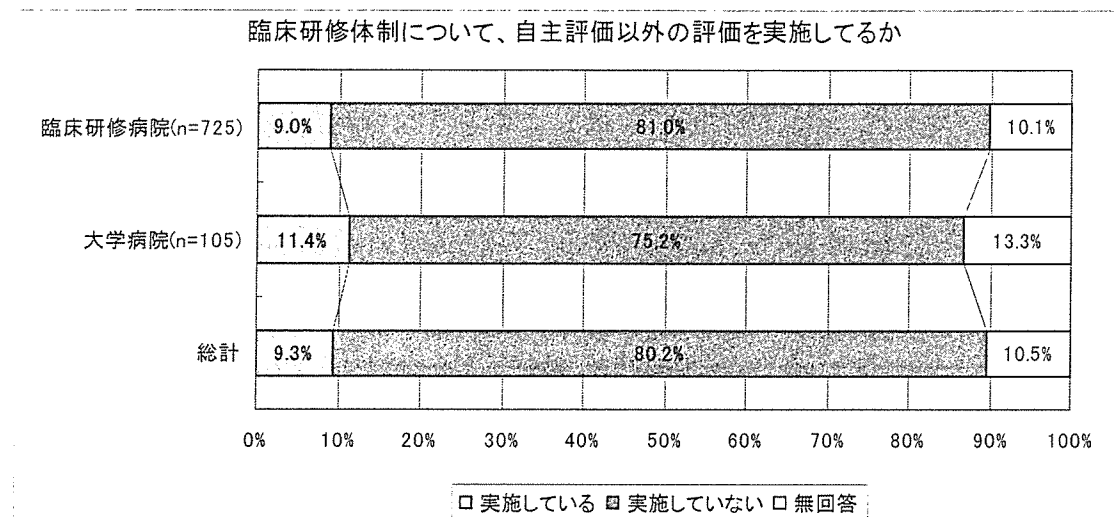


問 2 9 臨床研修体制について自主評価を実施しているか

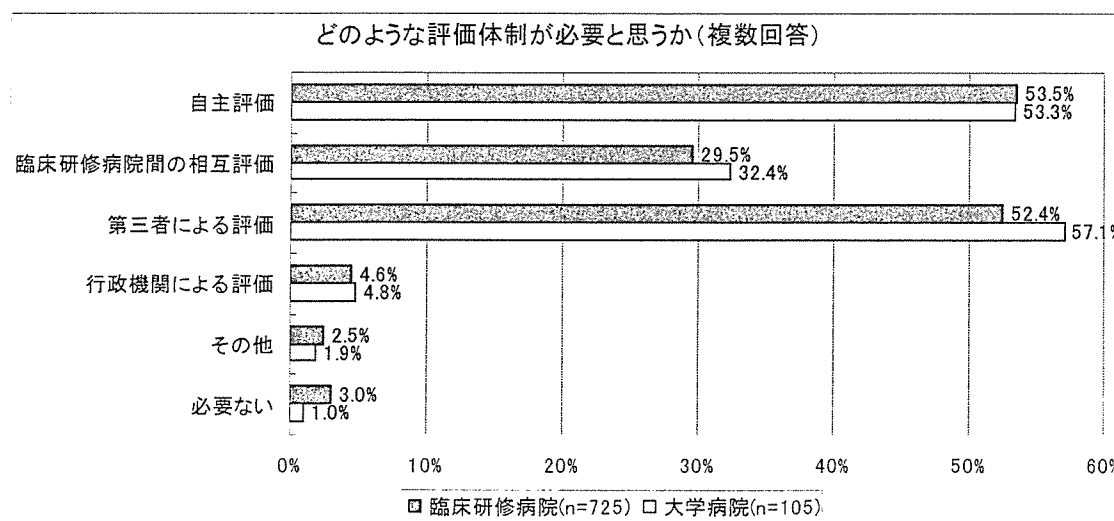
臨床研修体制について、自主評価を実施しているのは、臨床研修病院では 22.3%、大学病院では 37.1%、自主評価していないのは、臨床研修病院では 68.6%、大学病院では 51.4%であった。



問30 臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施してるか
 臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施しているのは、臨床研修病院では9.0%、大学病院では11.4%、自主評価以外の評価を実施していないのは、臨床研修病院では81.0%、大学病院では75.2%であった。

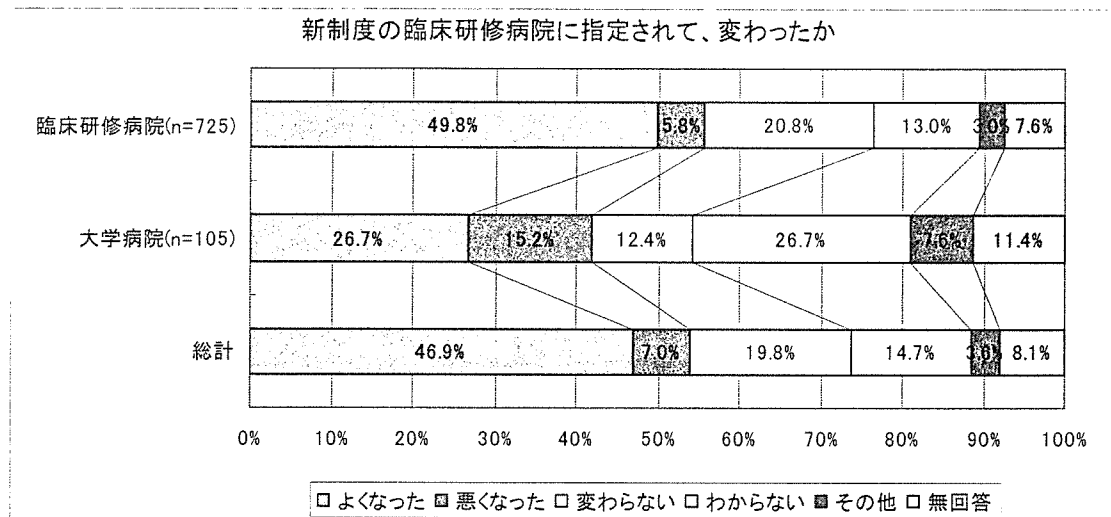


問31 どのような評価体制が必要と思うか（複数回答）
 必要な臨床研修の評価としては、臨床研修病院、大学病院ともに、「第三者による評価」、「自主評価」が多い。

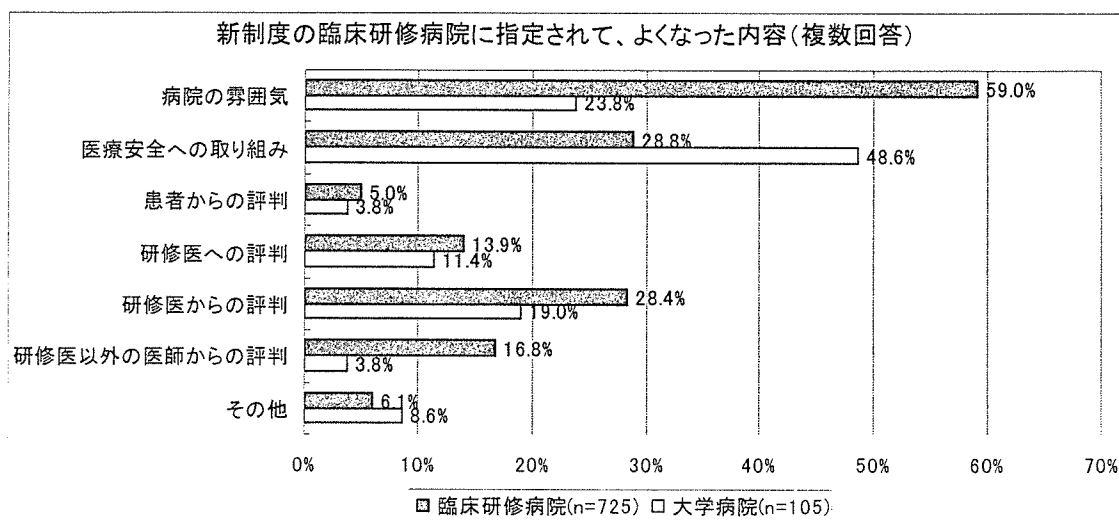


問3 2 新制度の臨床研修病院に指定されて、変わったか

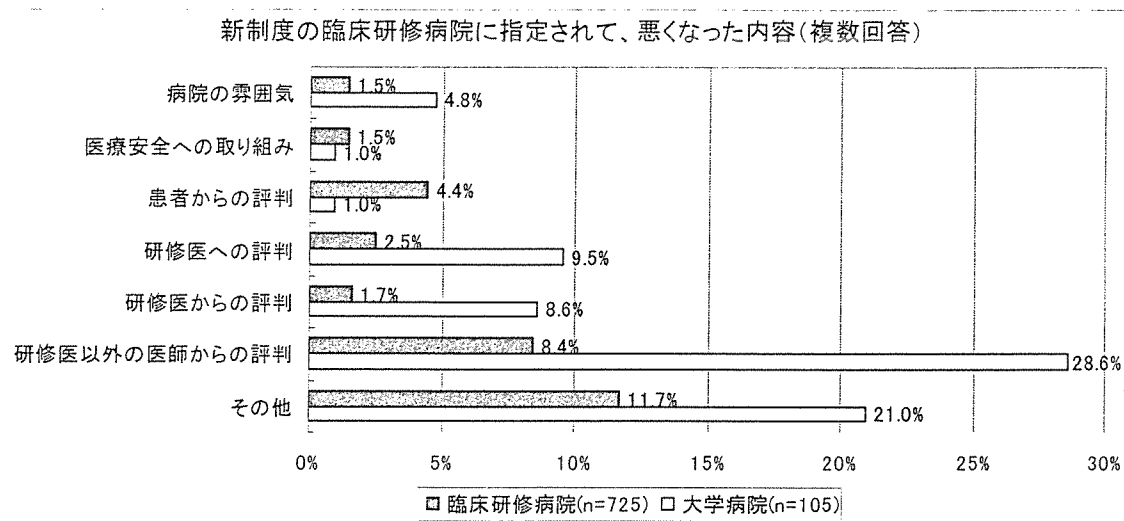
新制度の臨床研修病院に指定されて、「よくなった」と回答したのが臨床研修病院では49.8%、大学病院では26.7%、「悪くなった」と回答したのが臨床研修病院では5.8%、大学病院では15.2%であった。



問3 2-1 新制度の臨床研修病院に指定されて、よくなった内容（複数回答）



問3 2-2 新制度の臨床研修病院に指定されて、悪くなった内容（複数回答）



6. 平成 17 年度「臨床研修に関する調査」の概要

【調査の目的】

新医師臨床研修制度の効果等を検証・分析するための基礎となるデータを収集するため、臨床研修病院及び研修医に対し、調査を行うもの。

厚生労働省科学研究費補助金「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」班（主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院））と「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」班（国立保険医療科学院）の合同調査として実施した。

【調査対象】

単独及び管理型臨床研修病院

単独及び管理型相当大学病院

当該病院の研修プログラムに在籍する臨床研修医

【調査内容】

共通質問（全病院、全研修医 1 年次、2 年次）

- 研修の満足度、研修修了後の進路など

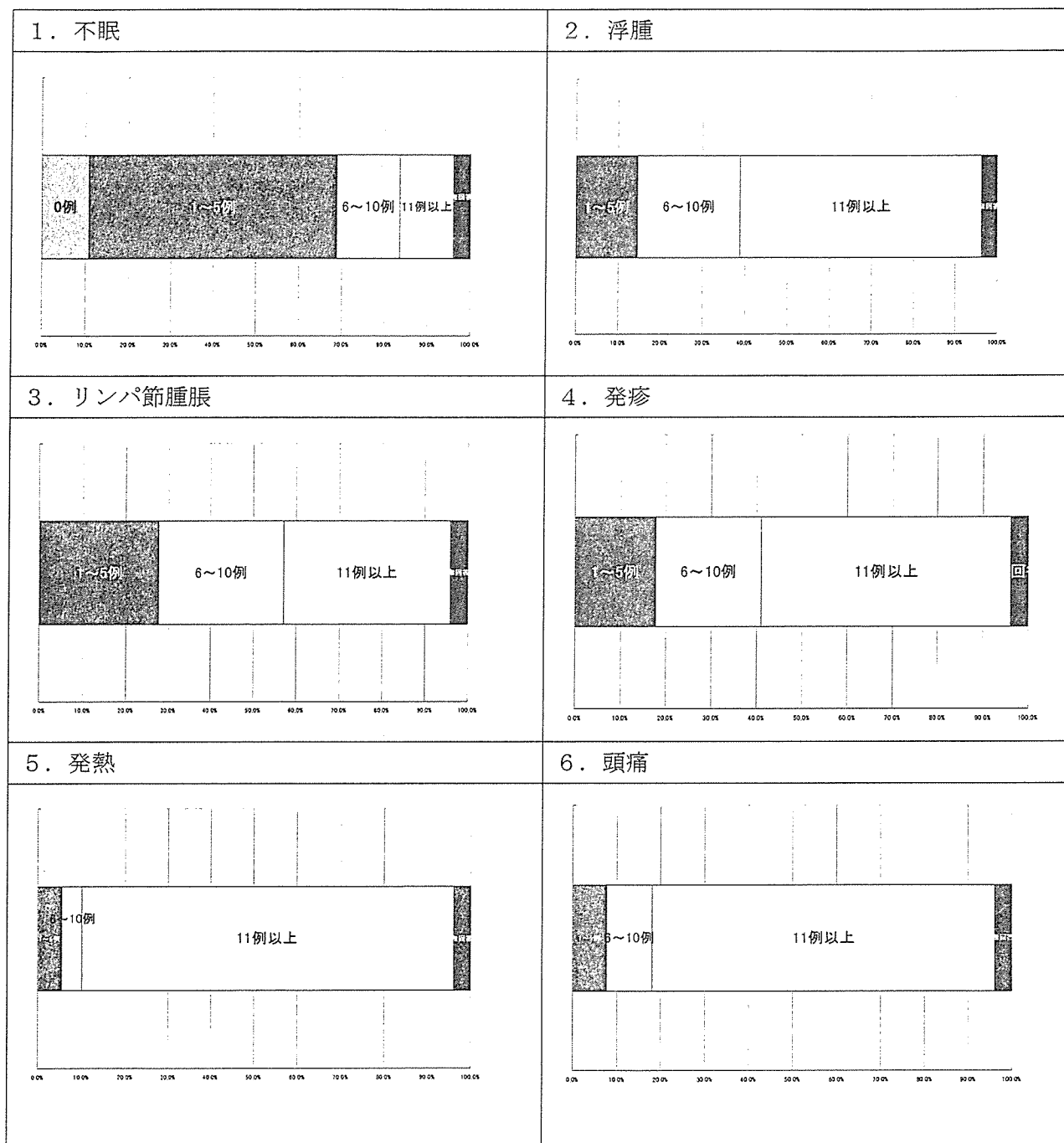
追加質問（2 年次研修医 5 人に 1 人）

- 知識、技術等の修得状況など

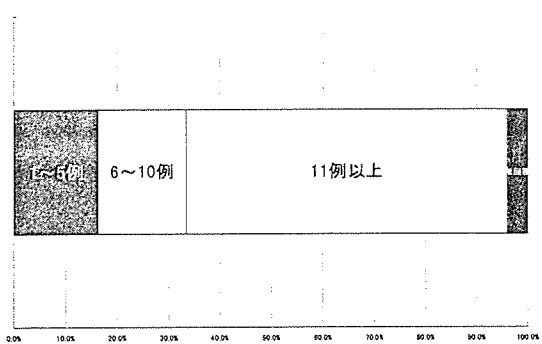
【実施時期】

平成 18 年 3 月（配布）

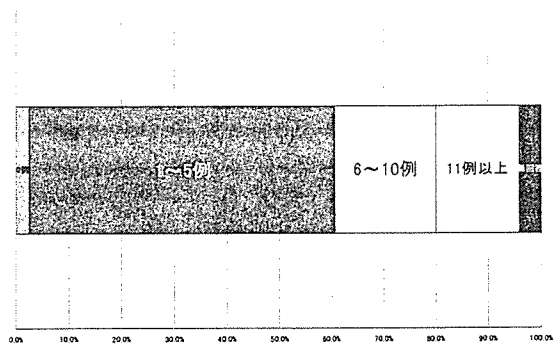
7. 平成17年度「臨床研修に関する調査」調査結果【追加報告】



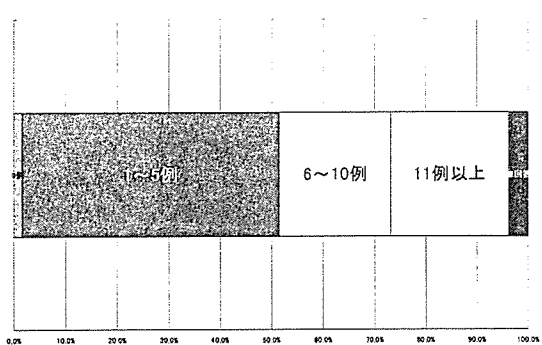
7. めまい



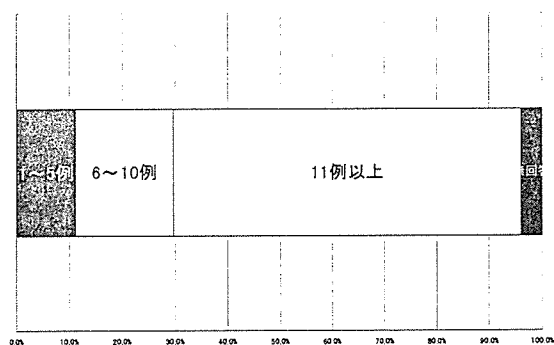
8. 視力障害、視野狭窄



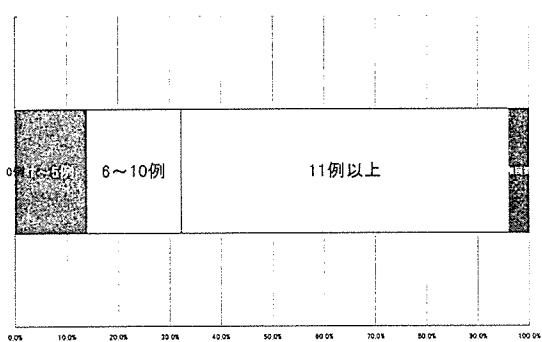
9. 結膜の充血



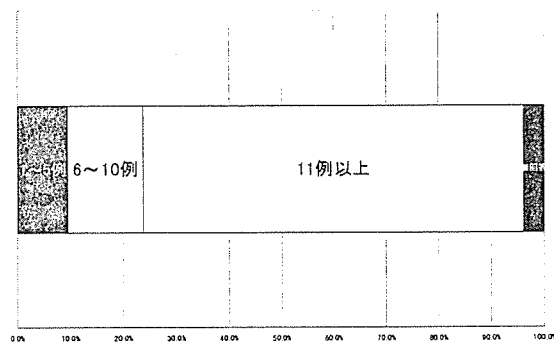
10. 胸痛

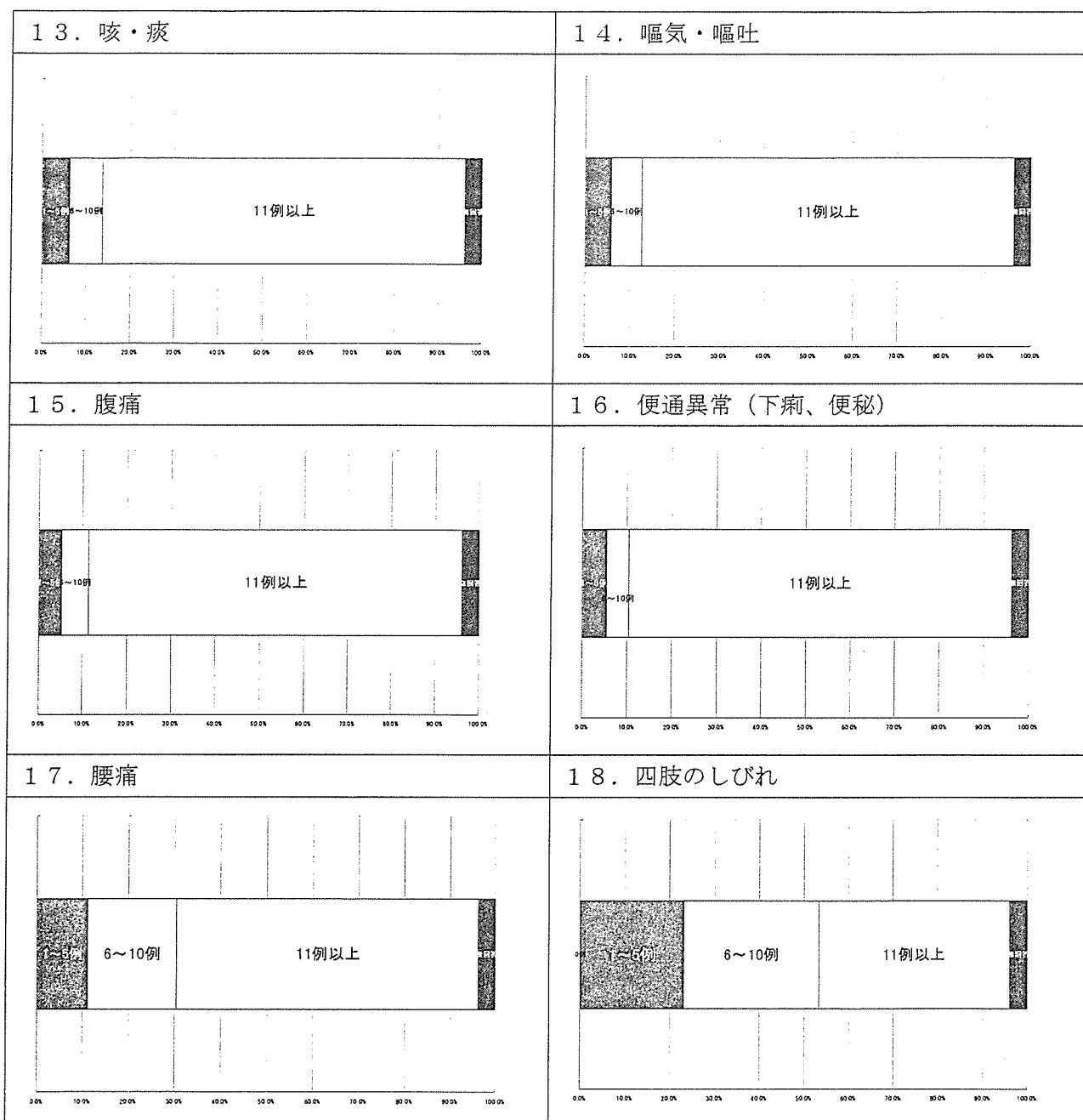


11. 動機

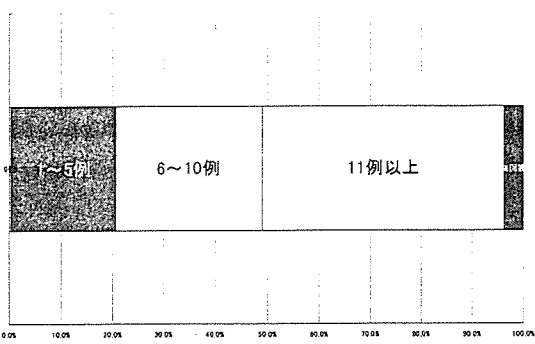


12. 呼吸困難

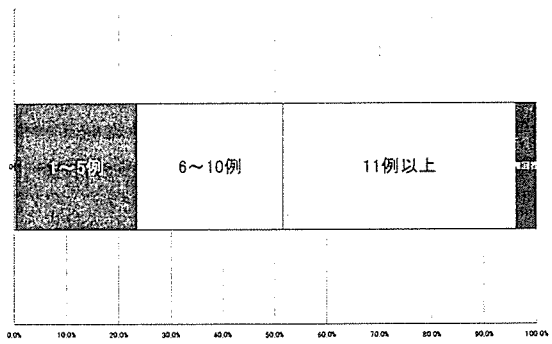




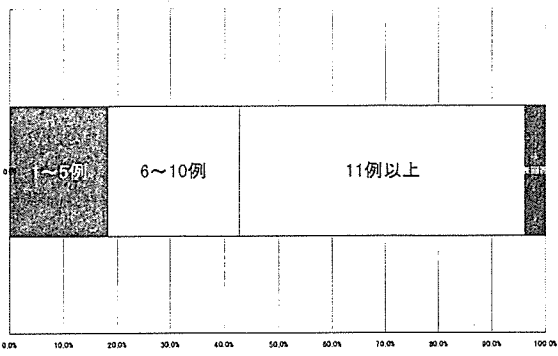
19. 血尿



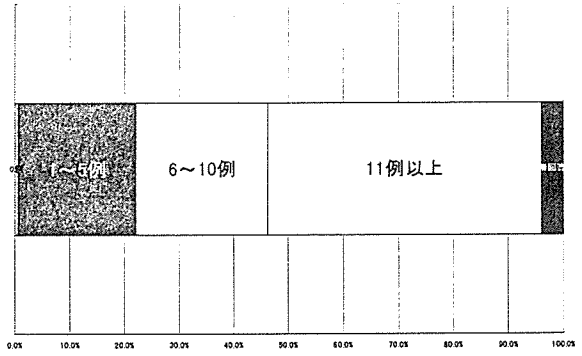
20. 排尿障害



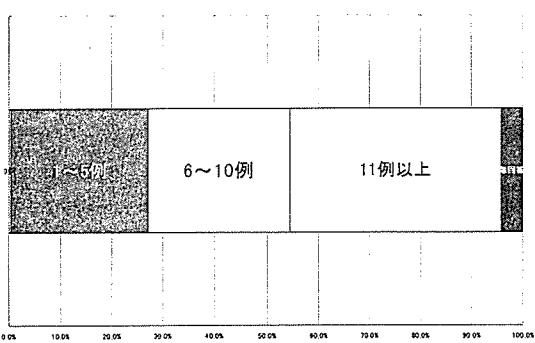
21. 不安・抑うつ



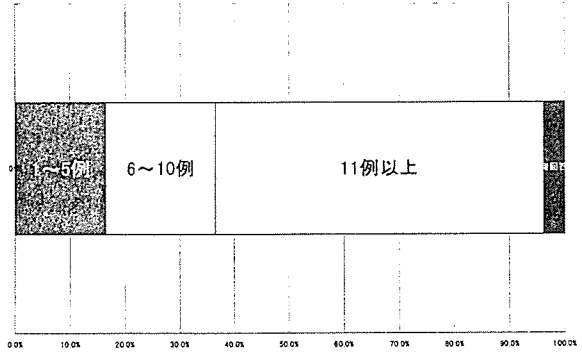
22. 心肺停止

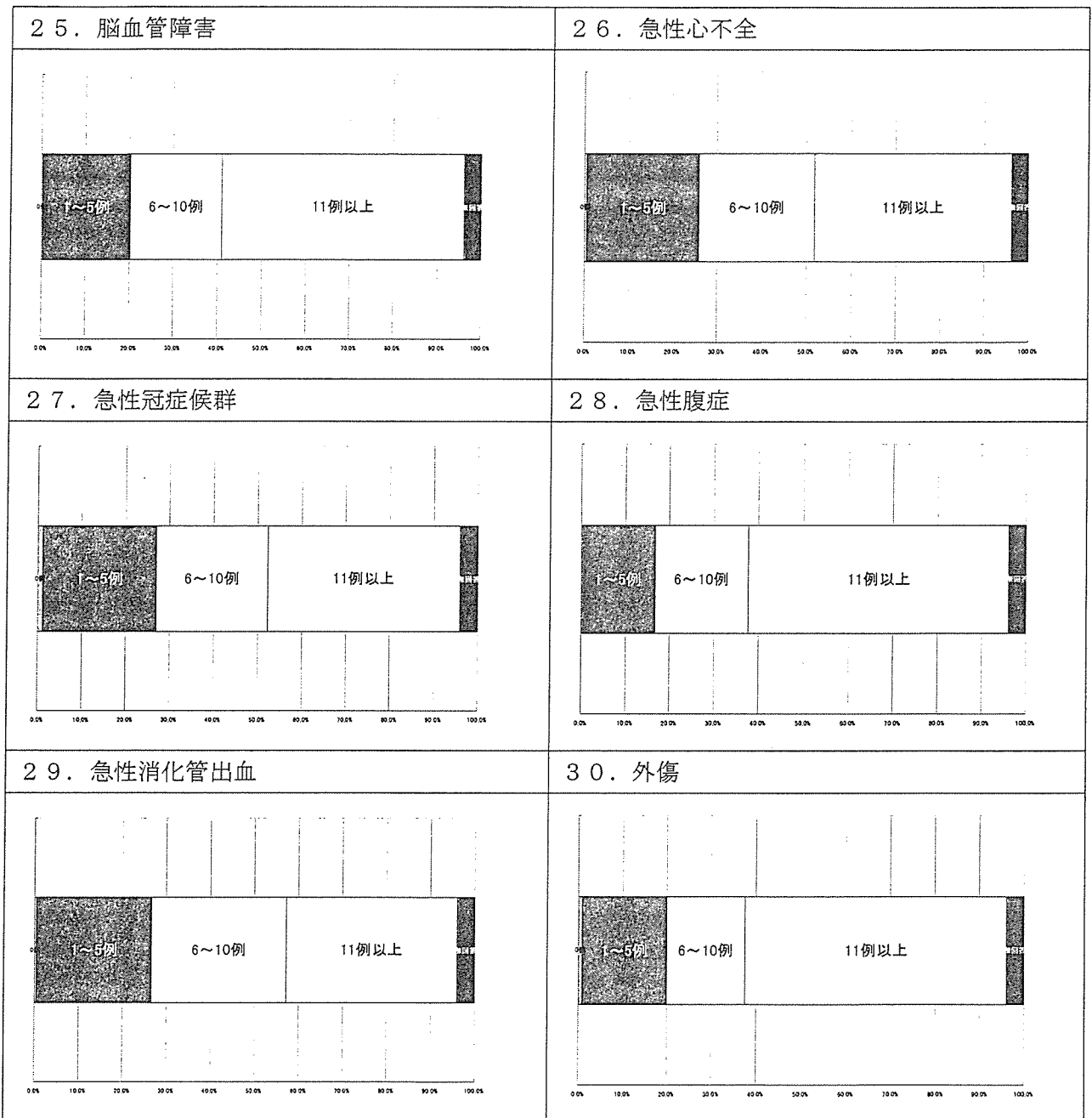


23. ショック

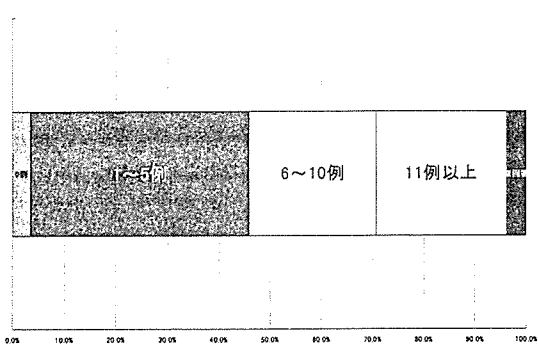


24. 意識障害

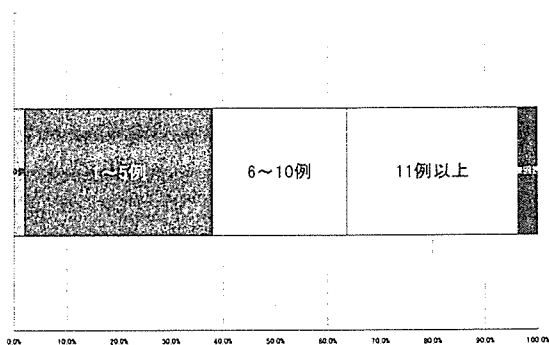




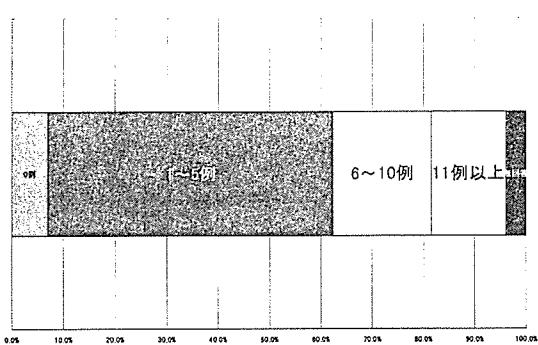
3 1. 急性中毒



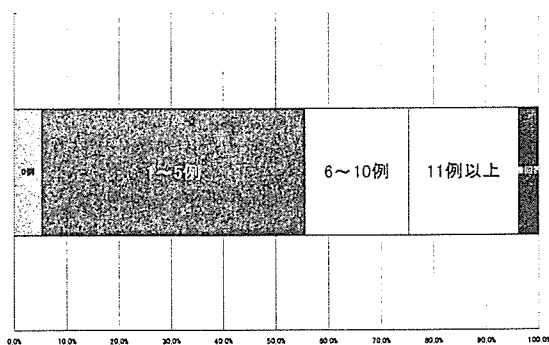
3 2. 誤飲・誤嚥



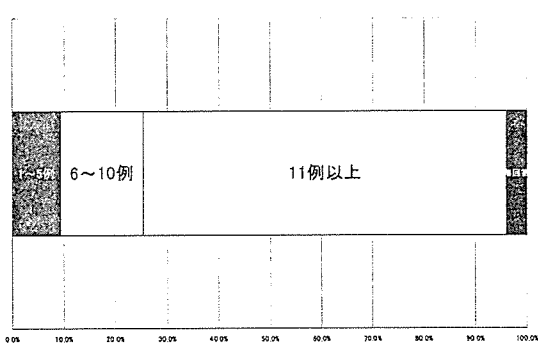
3 3. 熱傷



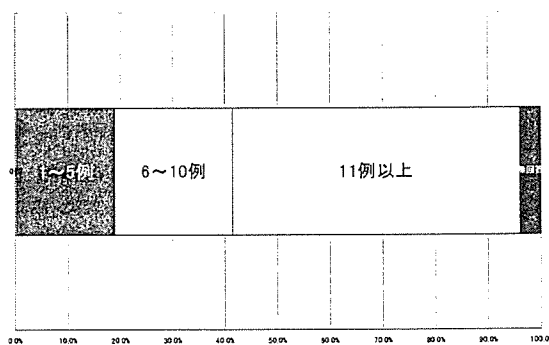
3 4. 自殺企図



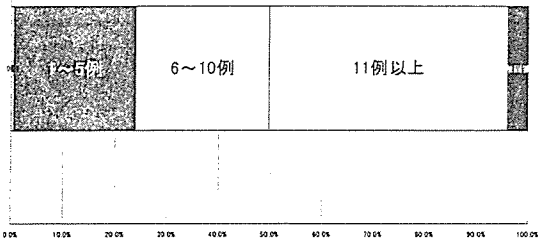
3 5. 貧血（鉄欠乏性貧血、二次性貧血）



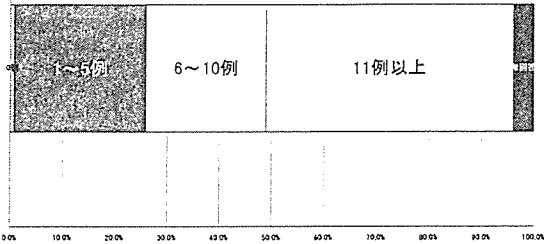
3 6. 脳・脊髄血管障害



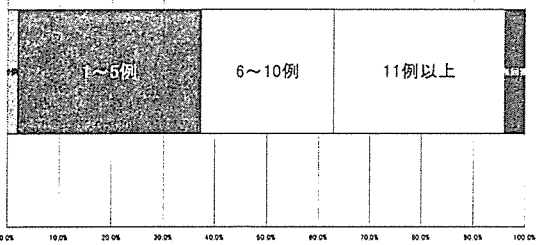
37. 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)



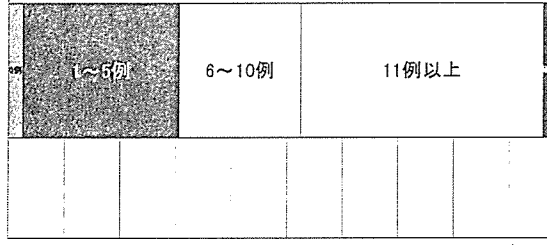
38. 蕁麻疹



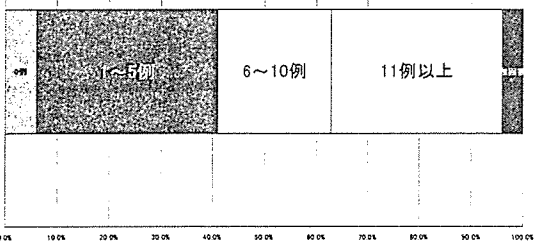
39. 皮膚感染症



40. 骨折



41. 関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷



42. 骨粗鬆症

